

## 単元名 右手の運指や低音の奏法を身に付けよう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かし、他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けることができる。
- (2) アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解し、他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。
- (3) 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

10260204\_001

【教材名】 うみ アメージング・グレイス ◆ ロング・ロング・アゴー ◆ ソナタK. 331 (P. 10～P. 11)

(P.

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 アルト・リコーダーの右手の運指と息の出し方を身に付けて演奏する。</p> <p>★「うみ」「アメージング・グレイス」を演奏しよう。</p> <p>○アルト・リコーダーの右手の運指と息の出し方を確認する。</p> <p>○右手の運指と息の出し方を生かして、「うみ」を演奏する。</p> <p>○右手の運指と息の出し方を生かして、「アメージング・グレイス」を演奏する。</p> <p>2 アルト・リコーダーの新たな右手の運指を身に付けて演奏する。</p> <p>★「ロング・ロング・アゴー」または「ソナタK. 331」を演奏しよう。</p> <p>○「ロング・ロング・アゴー」または「ソナタK. 331」を演奏する。</p> <p>○演奏する際の注意点などをワークシートにまとめる。</p>	<p>・練習1を用いて右手の運指と息の出し方を確認させる。</p> <p>・グループごとに演奏させてもよい。</p> <p>【評】右手の運指と息の出し方を考えて「アメージング・グレイス」を演奏する活動を通して、「技能」を評価する。</p> <p>・曲に入る前に、練習2で右手の運指を確認させてもよい。</p> <p>【評】右手の運指や息の出し方を意識して演奏する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】右手の運指や息の出し方の工夫をワークシートにまとめる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

「うみ」「アメージング・グレイス」ではアルト・リコーダーの右手の運指を確認し、息の出し方を工夫しながら演奏する。「ロング・ロング・アゴー」では、アルト・リコーダーの音色を聴き取りながら、低い音を表現する奏法を身に付けることを目指す。「ソナタK. 331」では、旋律のまとまりを工夫し、互いの音を聴き取りながら合わせて演奏する。

【共通事項】 音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ